



コア通信  
VOL.24

2015年  
5月発行

新茶の香り漂う季節となりました。お茶のお供に、「コア通信」最新号をお楽しみください。

音楽と映像を皆様にお届けする  
サウンドオフィス・コアのニュースレターです。

## 季節にあうおすすめの1曲

### 5月<思い出のグリーングラス>

故郷の自然にあふれた風景や家族・恋人との楽しい日々を、明るくのどかなメロディーで歌った1965年発表のカントリーソング。原曲の英文歌詞3番ではその幸せな光景のすべてが、牢獄につながれた身の束の間の夢だった事が知らされる。やさしいメロディーとはうらはらな歌詞の曲でもある。

### 6月<雨音はショパンの調べ>

80年代にヨーロッパでヒットしたガゼボの「I Like Chopin」を小林麻美がカバーした1984年発表の大ヒット曲。英語の原曲とは違う独自の歌詞だが、小林麻美というアーティストの個性とよくマッチした気だるく艶かしい魅力にあふれている。なお日本語の訳詞は松任谷由実。

♪私の心に響く一曲♪

## 「虹とスニーカーの頃」 チューリップ



ニューミュージックを開拓したバンドの一つであるチューリップが1979年に発売したシングル。バンドにとって「サボテンの花」や「心の旅」に次ぐ久々のヒットとなった曲です。20年以上経ったのち、缶コーヒーのCMソングとしても起用され、若い世代にも浸透しました。大サビのインパクトのある歌詞と見事なコーラスワークで、若き日の青春時代の爽やかさと悔恨が表現されています。

♪わがままは 男の罪 それを許さないのは 女の罪  
若かった 何もかもが あのスニーカーはもう捨てたかい♪

(日本音楽著作権協会 (出) 許諾第 1504413-501 号)



### 音楽著作権って？

“音楽著作権”とは、  
どんなものかご存知ですか？

音楽著作権とは、著作物にかかる権利のことで、作った楽曲や、歌詞などはすべて音楽著作物となります。知的財産権の1つであり、作曲家や作詞家が苦心して作りだした音楽は、この権利により、守られています。

私たちの生活は、音楽で溢れています。テレビやラジオはもちろん、飲食店や商業施設等、あらゆる場所で音楽を楽しむことが出来るのは、企業側が包括契約を結び、著作権料を支払っているからです。言葉を並べると難しく感じてしまいますね(^\_^;)

では、私達は著作権料を直接支払うことはあるのでしょうか？

身近なところでは、アーティストのコンサートや、カラオケ、レンタルCD、楽譜購入などには、料金の一部に著作権料が含まれており、著作権者（作詞家、作曲家）、著作隣接権者（レコード会社、アーティスト）に、支払いがされています。

最近では、結婚披露宴やパーティーで流す新郎新婦の思い出の曲やBGMも、音楽著作権の手続き、複製権の申請が厳格になってきました。近年CDの売上が落ちていく中で、著作権の枠に縛られすぎて、「乾杯（長瀬剛）」、「本気でオンリーユー（竹内まりや）」といった婚礼をきっかけにヒットした様な曲が少なくなってくると思うと、少々寂しい気もします(+o+)

サウンドオフィス・コアが提案する「サウンド・ウエディング・プラン」では、CD音源編集から生演奏、音楽著作権の事務手続きなどすべてを行っております。どんなことでも、お気軽にお問い合わせください。

### 編集後記

レストラン演奏を始めて、半年が経ちました。お客様の生の声を直に聞くことが出来るので、勉強にもなり、励みにもなっています。ヒット曲をチェックするのはもちろん、季節や行事に合わせた楽曲を用意するのも、ひそかな楽しみに。5月とはいえ、日によっては、汗ばむ日も増えてきました。今年の夏に向けボサノバ、サンバにも挑戦したいと思います。  
♪きんぎょ♪

急なご依頼にもまごころこめて対応いたします。  
音楽・映像のことなら、迅速対応の



サウンドオフィス・コア

〒202-0012 東京都西東京市東町3-13-21  
クレストコート保谷403

TEL : 042-421-7150

FAX : 042-422-0894

HP アドレス : <http://www.so-koa.jp>

